

2019年度

事業報告書

公益社団法人 岡山青年会議所

The Creed of Junior Chamber International

We Believe :

That faith in God gives meaning
and purpose to human life ;
That the brotherhood of man
transcends the sovereignty of nations ;
That economic justice can best
be won by free men through free
enterprise ;
That government should be of laws
rather than of men ;
That earth's great treasure lies in
human personality ; and
That service to humanity is the
best work of life.



ミッション J C I MISSION

トゥ プロバイド デヴェロップメント オポチュニティーズ
To provide development opportunities
ザット エンパワー ヤング ピープル
That empower young people
トゥ クリエイト ポジティブ チェンジ
To create positive change.

J C I の使命

青年が積極的な変革を創造し開拓するために
能動的な活動ができる機会を創造する。

《2008年》

J C I VISION

To be the leading global network of young
active citizens.

J C I ビジョン

青年の行動的市民活動を支援する国際的な
ネットワークをもつ先導的機関となる。

J C 宣 言

日本の青年会議所は
混沌という未知の可能性を切り拓き
個人の自立性と社会の公共性が
生き生きと協和する確かな時代を築くために
率先して行動することを宣言する

〈2001年10月12日 第50回 全国会員大会大阪大会 承認〉

綱 領

われわれJAYCEEは
社会的・国家的・国際的な責任を自覚し
志を同じうする者 相集い 力を合わせ
青年としての
英知と勇気と情熱をもって
明るい豊かな社会を築き上げよう

〈1960年12月総会決定〉

岡山JC三信条

- 修 練** 岡山 J C は、青年経済人として郷土の経済発展に貢献し、企業を基盤として社会貢献を
行い、不易と流行を常に意識し、行動に移すべく、自己修練を行う団体である。
- 奉 仕** 岡山 J C は、快適で活力あるまちづくりができる人材を育成する団体である。
- 友 情** 岡山 J C は、志の基に集まった会員相互が、青年会議所運動を通して、切磋琢磨し、真
の友情を培う団体である。

「21世紀における岡山青年会議所のあるべき姿」
〈1999年1月14日 第1回定時総会承認（内容同上）〉
「岡山JC三信条」

〈2009年11月4日 総会承認〉
（実施期間2010年1月1日～2014年12月31日）

2019年度スローガン

J C I スローガン

Be Better.™

公益社団法人日本青年会議所 スローガン

共に心躍る未来へ
「やりましょう！」

公益社団法人日本青年会議所 中国地区協議会スローガン

挑戦する人財が導く経済再生と
地域強靱化による
未来への希望溢れる中国の創造

公益社団法人日本青年会議所 中国地区 岡山ブロック協議会スローガン

成長が導く道徳愛に溢れ
心躍る岡山の創造

公益社団法人岡山青年会議所スローガン

Excite!
okayama

〔目 次〕

I 事業報告	3
理事長、副理事長、専務理事、常任理事、監事	
II 組 織	10
1. 会 員	10
2. 組 織 図	12
III 出向者報告	13
IV 委員会活動報告	17
V 会 議	20
1. 総 会	20
2. 理 事 会	21
VI 例 会	24
VII 諸 事 業	25
VIII 褒賞関係	26
2019年度 決算資料	27

Excite! okayama

基本理念 無難ではなく大胆に、守りではなく攻めの姿勢で。リスクを恐れず青年らしく、わくわくする発想力と挑戦心で、岡山青年会議所の魅力と存在価値を高めていこう。新しい時代の幕開けにふさわしい、時代に合わせたバージョンアップをしよう。

基本方針 礼儀礼節を重んじ、感謝の念をもって、まちやひとのために行動できる人財を育成しよう。仲間と共に限界を越えられるような感動体験を積み上げ、自分たちが成長し続けることで、岡山青年会議所の魅力と存在価値を高めよう。

誰もがわくわくするまちの実現のため、おかやまにしかない「らしさ」を発信し、青年らしい発想力をもって、誰をも魅了する事業を展開しよう。ブランディングを加速し、人が集まり、誰もが好きになる、おかやまを創出しよう。

代々受け継がれてきた「おもてなしの心」にくわえ、参加する一人ひとりが前のめりになって、刺激しあえる期待感のある場を創出しよう。礼儀礼節を学ぶだけではなく青年経済人としての成長する場を提供し続けよう。

青年らしい豊かな発想力と積極的な発信力で、未来の礎を築く一年を創り上げよう。自分自身の成長により組織のブランド価値を高め、存在価値のある団体へ昇華し、未来を創る仲間を増やしていこう。

地域からの信頼を強固なものとし、次世代に引き継ぐために岡山青年会議所の存在価値を高めていこう。リスクを恐れない新しい価値創造に挑戦する攻めの姿勢の組織運営で、組織の活性化を促進していこう。



I 事業報告

理事長 古市 聖一郎

本年度、「Exite! Okayama」のスローガンの元、106名のメンバーと共に数々の事業を展開させていただきました。執行部をはじめ、メンバーの皆様には心より感謝申し上げます。特に、近くで支えていただいた岸専務理事、セクレタリーメンバーには一言では表せないほど、たくさんの時間や労力をかけてもらえた事への感謝の気持ちは一生忘れません、本当にありがとうございました。

私がJC生活5年半の中で気づき、今年最も皆様に伝えたかったことは、「JCは青年の団体である」ということでした。青年には青年にしかない青さが有り、青臭いからこそ、大人にはできない可能性や爆発力を秘めていると私は考えています。そんな青年の集団であるJCは、決して小さくまとまらず、リスクを恐れず、チャレンジをし続ける団体であるべきだと考え、スローガンを定め、事業を実行して参りました。

来年70周年を迎える岡山青年会議所ですが、数多くのパワフルで優秀なメンバーが現役として在籍しています。これからのJCを彼らに託し、オンリーワンの事業を繰り広げていく姿をOB直前理事長としてサポートできればと思っています。

1年間本当にありがとうございました。



副理事長 平 田 知 之

本年度、岡山青年会議所で根幹となるひとづくり室副理事長兼会員研修委員会委員長という大役を古市理事長より仰せつかりました。前期14名、後期9名の新会員をお預かりし、8名の優秀なスタッフとともに一年間活動に取り組ませていただきました。

これまでの研修委員会と基本的なカリキュラムに大きな変更はありませんでしたが、岡山青年会議所のメンバーとして礼儀、礼節の大切さや、利他やおもてなしの精神を学んでいただき、与えられた事業に新会員が一丸となって取り組むことでお互いの理解と深い絆を育んでいく、そんな活動を推進して参りました。スタッフが「すべては新会員のために」という想いで新会員と真剣に向き合うことで、お互いの大きな成長に繋がった年になったのではないかと思います。

特別会員の皆様、また現役会員の皆様におかれましては、一年間を通して会員研修委員会の活動に対して、ご指導ご鞭撻を賜りましたこと、心より厚く御礼申し上げます。半年間の研修を終えた新会員が、これからの青年会議所活動を通して、郷土おかやまの発展に貢献できる有益な人材となれるよう、今後も見守っていききたいと思います。一年間、ありがとうございました。



副理事長 高 山 晃 一

本年度、古市理事長のもと、杉常任理とともに中村委員長率いるエキサイトおかやま委員会と林委員長率いるまちづくり委員会を担当させていただき、岡山「らしさ」をさらにバージョンアップすべく活動してまいりました。

エキサイトおかやま委員会では、郷土おかやまの「らしさ」を再発見・再定義し若い世代に向けたブランディングを加速させるため、「岡山城周辺活性化プロジェクト」を実施し、最も観光客の集まる後楽園・岡山城・石山公園一帯の魅力づくりに取り組みました。また本年6回目を迎える青少年育成事業「キッズビジネスパーク」では、新たにSDGsの要素を取り入れ、さらに内容を充実させ実施いたしました。まちづくり委員会では、新たな四半世紀に突入し、さらに市民に愛されるまつりへと発展させるべく「第26回うらじゃ」の開催支援と運営を担当いたしました。両委員会とも、常に「わくわく感」を意識して、郷土おかやまにしかない「らしさ」を発信できたと感じております。

最後になりますが、多くの特別会員、現役会員にご支援ご協力を賜りましたこと、心より感謝を申し上げます。誠にありがとうございました。



副理事長 岡 部 憲一郎

本年度は古市理事長より交流室副理事長という大役を仰せつかりました。交流室として嶋田委員長率いる渉外委員会と西山委員長率いる例会委員会を担当させていただき、参加すれば成長できる場を創出する事にこだわった設営をさせていただきました。

渉外委員会では出向者支援LOMナイトや他のLOMとの交歓会、県外国外事業において、参加したくなるまたは、参加できないことを惜しむような設営をはじめ、参加した際には細かい気配り心配りをもって嶋田委員長流のおもてなしを実現できたものと考えます。例会委員会では毎月行われる例会をありきたりなものではなく成長の場として新たな刺激を受ける機会を生み出すことに意識し西山委員長の強いリーダーシップのもと行うことが出来ました。新たな厳しい事にもチャレンジしていただき、成功裏に収められたのも今後のモデルになるものと思います。各委員会共に嶋田、西山両委員長の懸命な先導のもと委員会メンバー全員の成長が出来たものと確信しております。

最後になりますが、特別会員、現役会員にご支援ご協力を賜りましたことを心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



副理事長 小 林 佑 輔

本年度、古市理事長のもと石井常任理事とともに、綾部委員長率いる「岡山JCブランディング委員会」と安部委員長率いる「会員拡大委員会」の2委員会を担当させていただき、これからの時代の在り方を的確にとらえながら、組織の未来を担う室として、未来のマイルストーンを創り上げることを目指し活動を行いました。岡山JCブランディング委員会では広報を担当させていただき、事業としてはBMX体験事業などを行い、若者らしく斬新な手法と積極的な発信力で、岡山青年会議所のブランドを高めることができました。また、会員拡大委員会では、メンバー自身の拡大意識の向上と自分自身の成長により団体の価値を高めることにより、より多くの市民に青年会議所の魅力を知っていただくことで、未来を共に創っていく新しい仲間を増やしていくことができました。岡山青年会議所に所属していることに誇りを感じ、ひとの魅力が自然と伝播する輝かしい組織に昇華していくために、メンバー一人一人が未来を見据え行動することができたと確信しています。

最後になりますが、特別会員におかれましては、現役会員にご支援ご協力を賜りましたこと心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。



専務理事 岸 紘 史

本年度、古市理事長に専務理事という大役を拝命し、柴田常任理事と共に、井戸委員長率いる総務委員会を担当させていただきました。

総務室の担当としましては、古市理事長の掲げる理事長所信に基づき、コンプライアンスの遵守や事業・組織運営の効率化に努め、L O M全体の様々な活動を支えて参りました。特に本年度は、アジェンダシステムを導入することにより、会議の質も高まり、さらに盤石な土台を構築することができました。

専務理事としましては、過去に捉われることなく新しいわくわくした活動を展開しようとされている古市理事長の一助となるべく、執行部理事と協力して活動して参りました。その中で、リーディングL O Mの理事長として各方面でリーダーシップを発揮し活躍された古市理事長の側で1年間過ごさせていただいたことは、私にとって大きな気づきや学びを得る機会となりました。

最後に、1年間大変お世話になりました古市理事長、特別会員の皆様、柴田常任理事、井戸委員長、セクレタリーメンバー、そしてすべてのL O Mメンバーの皆様に深く感謝を申し上げ、事業報告とさせていただきます。1年間ありがとうございました。



常任理事 杉 大 和

本年度、古市理事長が掲げられた「Excite! okayama」のスローガンのもと、高山副理事長から指導いただきながら中村委員長率いるエキサイトおかやま委員会と林委員長率いるまちづくり委員会を担当させていただき、おかやま「らしさ」のバージョンアップに向けて一年間活動をしてまいりました。

エキサイトおかやま委員会では、「岡山城周辺活性化プロジェクト」と題し、岡山市で一番多く観光客が集まる岡山城・後樂園周辺の観光地の価値をバージョンアップさせるために、行政や学生・他団体と一緒に事業に取り組み、今後の岡山城周辺のバージョンアップに向けてのきっかけづくりができたと考えております。また、第6回目の開催となる「キッズビジネスパーク」では、地元の新たな企業を含め多数の企業に出店いただき、参加いただいた児童に、職業体験を通じて企業の魅力を広めていただく事業を実施することができました。

まちづくり委員会では、本年度で第26回目の開催となる「うらじゃ」の運営に携わせていただきました。多くの皆様のご協力をいただきながら、おかやま代名詞ともいえるまつり「うらじゃ」を市民・行政・マスコミそして地元企業が一体となり、市民が誇りにおもえる祭りへと発展させていくことができたと考えております。

最後になりますが、本年度まちづくり室の活動に対しまして特別会員の皆様、古市理事長をはじめL O Mメンバーの皆様には多くのご支援・ご協力いただき本当にありがとうございました。



常任理事 關 和 敏

本年度、古市理事長のもと、嶋田委員長率いる「渉外委員会」と、西山委員長率いる「例会委員会」を岡部副理事長の基交流室2委員会を担当させて頂き、岡山青年会議所の根幹でもある「至極のおもてなし」と、「自己成長の機会を設け、学び舎の提供」を体現すべく活動をして参りました。

渉外委員会では、京都出向者支援LOMナイトを皮切りに他LOM交歓会を通じ「おもてなし」の精神を持ち誰ものが会に参加しなくなるようなおもてなしの心を持ち、「友情」に満ちた空間の創出する事ができました。

例会委員会では、例会時において、今までにない経験を持ち帰って貰いメンバー同士の成長が高まりあう事で自己成長はもとより自分自身が輝く例会の開催ができました。事業を通し、両委員長の素晴らしいリーダーシップのもとメンバーも成長でき70周年を輝かせる人材と確信しております。

最後になりましたが、交流室の活動に対し先輩諸兄をはじめご支援、ご協力賜りましたこと心より感謝御礼申し上げます。1年間誠に有難う御座いました。



常任理事 石 井 聖 至

本年は、組織未来室常任理事の役職を古市理事長より賜り、この一年を駆け抜けてまいりました。LOMの最重要課題である拡大を担いとする安部委員長率いる会員拡大委員会、広報、ブランディング活動を担う綾部委員長率いる岡山JCブランディング委員会の二つの委員会と、本年度執行部とのパイプ役として、また小林副理事長をお支えする立場として大変多くの学びを得ることができました。これに加えて、公益社団法人日本青年会議所の組織グループJC拡大会議に委員として出向もさせていただき、拡大活動の意義や目的を深く勉強できたことに対しまして、多くのメンバーに心より感謝申し上げます。

私は、拡大に対し常に高い意識を持ってJC活動に邁進しておりますが、特に本年度においては、拡大に大きく関る組織未来室を担当させていただき、より一層拡大に意識を向けることができた一年でした。拡大委員会のLOM全体を巻き込む拡大手法や、岡山JCブランディング委員会の価値を創造する事業や広報の効果的な手法など、様々なことをメンバーと共に経験することができ、修練だけでなく、奉仕そして友情を育む、そんな一年が過ごせました事を改めて皆様に感謝申し上げます。



常任理事 柴 田 収

本年は総務室担当常任理事の役職を古市理事長より賜り、この一年を駆け抜けてまいりました。そして、最終年度に執行部、L O Mにおける扇の要である総務委員会の指導役、また岸専務理事を支えるという三つの立場をL O M内でいただきました。

ところで総務室担当常任理事はあまりやることがない出向要員の役職と言われることも少なくありません。私は総務室担当常任理事としてできることは何かを考えた結果、L O M内の誰よりも全ての議案を熟読して、総務上程・執行部会議・理事会に臨むよう心掛けました。また、明文化がなされず曖昧に運用されていたL O Mのルールを整備し、合理性を欠いたり時代に合わなくなったりしていたルールを、積極的に改正いたしました。

また、井戸委員長が率いる総務委員会の懇親会に岸専務理事と共に幾度も招待していただき、委員会メンバーと交流を深めました。その中で、これからL O Mを支えていく若いメンバーたちから、岡山青年会議所への非常に深い愛情が伝わってきて、卒業していく者としてとても頼もしく感じました。

6年間のJ C活動の最終年度に、このような充実した活動ができたことを、感謝申し上げ、事業報告とさせていただきます。



監 事 磯 島 慈 海

2019年の組織を俯瞰的立場から監査を行って参りました。1年間所属メンバーによって法は守られ、定款は遵守され、古市理事長の掲げる所信を達成するべく全委員会が精力的に活動を行っていました。組織からはみ出た動きはなく、理事長を頂点として副理事長が各室をまとめ組織図通りの動きが行われていました。また、出向者はL O Mの看板を背負って自らの出来る活動を積極的に行い、国、地方、県に活力を与える運動をされていました。2019年度も青年会議所としての活動がしっかりと行われ、郷土岡山の活性化に向けた事業が行われました。

反面、単年度と書面にかかれた活動しっかり行われていたといえますが、それ以上の活動ができていたとは言えません。特に岡山青年会議所が最も得意としてきた『不易』や『伝統の継承』が極めて弱く薄かった年と言えます。私を含めた指導的立場の執行部・理事の力不足によるところが大きく、たいへん申し訳ございません。

目標に全く届かなかった事業が大した反省もされことなく報告されたのは最たる例ですが、検証がされることなく報告される事例が散見され、『後進の為』という意識が薄くなっています。これらの傾向は本年度に限ったことではありませんが、年々顕著になり苦手面が苦手なまま放置され、次年度以降に引き継がれている状況が続いています。

一つ一つの事柄を意識して事業に参加しているメンバーは少なく、知るべきことを伝承されずに役職に就いたものが多数で、伝えるべき役割の者が何を伝えるべきかを分かっていないことがほとんどでした。古いJ Cと思われがちな親分子分の様な濃厚な関係と意識が薄れたゆえに、書面に現れない大切な継承が失われていく要因と思われます。「3年未満のメンバーが増えたから」という文言が流行を先取る未来志向でなく、伝えるべき不易が薄まる原因だけに使われています。「3年未満のメンバーが増えた」のであれば流行を先取る未来志向で革新的な挑戦を行う理由として使っていくべきです。

私が抱負とした不易と伝統を在籍メンバーへ継承しバージョンアップを行うことは十全に達成することができませんでした。古市理事長に心よりお詫び申し上げます。楽しいだけの団体、イベント事業団体は他にもあります。岡山青年会議所だからその特色を発揮した令和の時代に輝ける組織となるよう、次年度以降が新しく飛躍するための糧として、本年の経験を使っていただければ幸いです。



監 事 末 長 一 範

私の岡山青年会議所活動の最終年度でもある本年度は、古市理事長より監事という大役を仰せつかりました。昨今の拡大活動の甲斐もあり、岡山青年会議所の会員数は増加傾向にあるものの、ここ数年でメンバーの顔ぶれは大きく変化いたしました。岡山青年会議所の真髄とも言うべき「不易」と「流行」を常に意識しつつも、新しい岡山青年会議所のスタイルを確立するのだという想いで、監事という役職の果たすべき職務や影響力を常に考えつつ活動させていただきました。また、公益法人格を有する団体として常に透明性の高い組織運営が成されるよう、客観的な立場であることを意識し発言をさせていただきました。

古市理事長が掲げられた「E x c i t e !」つまり「わくわく」とは何なのか、またそれをどうやって達成するのか、若者にしか出来ない発想で取り組む事業や活動の先に、岡山青年会議所がどう評価されるのかということを常に意識して活動をすることで、私自身も多くの学びや気づきを得ることが出来たと確信しております。

例会や理事会等では、様々な方向性から発言をさせていただきましたが、すべて岡山青年会議所の発展を願ってのことだとお許しいただければ幸いに存じます。監事として活動をさせていただきましたことを岡山青年会議所メンバーの皆様に厚く御礼申し上げるとともに、最終年度に学び多き活動をさせていただきましたことにも御礼を申し上げ、事業報告とさせていただきます。

Ⅱ 組 織

1. 会 員

(1) 正 会 員

2018年度末会員	102名
2019年度特別会員加入者	17名
2019年度新規入会者	23名
2019年度中途退会者	1名
2020年度特別会員加入予定者	17名
2017年度末会員	90名

退会者 児島 都史

休会者 木村 治貴

(2) 特 別 会 員

2018年度末会員	775名
2019年度加入者	17名
2019年度物故会員	3名
2020年度加入予定者	17名
2020年1月1日会員	789名

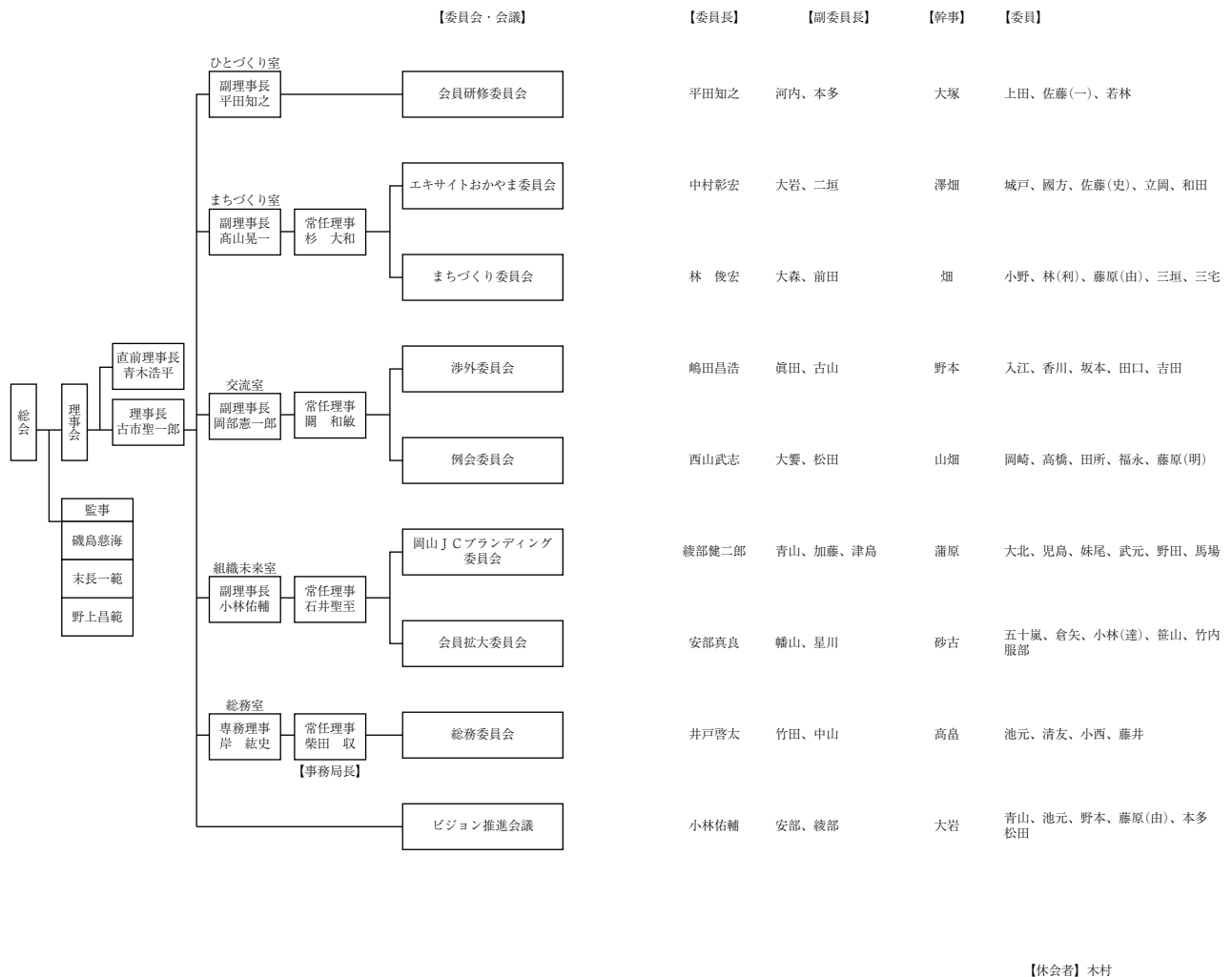
物故会員 石原 碩夫

児島 道浩

武田 修一

区分	氏 名	勤 務 先	年／月
前期新規入会者	綾部 系一	(株)A D F ・ アヤベ	2019／1
	内海 尚紀	岡山放送(株)	2019／1
	江種 崇行	創美建設(株)	2019／1
	岡田 有造	(株)ウィジット	2019／1
	金丸 俊孝	(株)美達	2019／1
	篠永 茂	山陽放送(株)	2019／1
	宋 秉孝	タイオンセキュリティ(株)	2019／1
	竹中 広太	美巧(株)	2019／1
	田中 康一	(株)エムグローバル	2019／1
	永山 栄一	岡山プラザホテル(株)	2019／1
	藤原 啓介	(有)キョウエイ 藤原保健事務所	2019／1
	平井 秀和	(株)名玄	2019／1
	松田 篤郎	(株)S E C	2019／1
	山田健太郎	岡山ライフラインソリューション(株)	2019／1
後期新規入会者	太田 武勇	オオタテラー合同会社	2019／7
	大田原基敬	(株)ブライトネス	2019／7
	大林 宗高	(株)ミテン	2019／7
	久保 和裕	(株)ファジアーノ岡山スポーツクラブ	2019／7
	四坂 政稔	(株)ジャパンウェブコンタクトセンター	2019／7
	中西 大輔	(株)グッジョブカーサービス	2019／7
	本郷 昌一	きらり歯科クリニック	2019／7
	眞殿 昌宏	竹久夢二本舗敷島堂(株)	2019／7
	宮廻 孝史	(株)P C M建創	2019／7
特別会員新規加入者	青木 浩平	瀬戸内造園(株)	2020／1
	入江 清晃	(有)入江産業	2020／1
	岡部憲一郎	(株)岡文館印刷所	2020／1
	岸 紘史	(有)岸佛光堂	2020／1
	清友 利昭	(株)S E I Y U	2020／1
	小林 達人	(株)シーヴァ	2020／1
	佐藤 史成	(株)マルシン広告社	2020／1
	柴田 収	弁護士法人岡山テミス法律事務所	2020／1
	嶋田 昌浩	(株)エコライフジャパン	2020／1
	末長 一範	岡山トヨペット(株)	2020／1
	田所 敦史	結(株)	2020／1
	西山 武志	(株)西日本総合保険サービス	2020／1
	野田龍太郎	(株)優計コンサルタント	2020／1
	林 俊宏	(株)クラスプラン	2020／1
	平田 知之	(株)ヒラタ	2020／1
	古市聖一郎	(株)トミヤコーポレーション	2020／1
	三宅 信也	(株)ThreeArrow	2020／1

2.2019年度 公益社団法人 岡山青年会議所 組織図



Ⅲ 出 向 者 報 告

公益社団法人 日本青年会議所

国際ビジネス連携委員会 会計幹事 加 藤 高 明

本年度、公益社団法人日本青年会議所経済グループ国際ビジネス連携委員会の会計幹事として出向させていただきました。日本青年会議所のスタッフとして出向する責任の重さを痛感し、同時に海外系委員会の楽しさも学びました。日本国内から見ると岡山青年会議所は今までも何度か見てきましたが、海外から見ると岡山青年会議所の経験は貴重であり、今後の青年会議所運動に影響を与えるものでした。当委員会の委員長は、半田青年会議所の副理事長であり、次年度の理事長予定者でもあります。また、父親は日本青年会議所の会頭です。そんな偉大な加藤大将の下へスタッフとして出向を認めていただきましたことに感謝申し上げます。

渉外委員会 運営幹事 二 垣 幸 広

本年度、公益社団法人日本青年会議所総務グループ渉外委員会に運営幹事として出向させていただきました。自身二度目の日本出向でしたが、本年度はスタッフ（運営幹事）としての出向であり、前回とは異なる責任感を感じながらの出向でした。渉外委員会の役目は日本青年会議所の役員団が業務を円滑に遂行出来るように補佐をすることです。そのため、常に役員の皆様と同じ空間で同じ出来事を体感し、今後の青年会議所活動において貴重な財産を得ることが出来ました。東京での諸会議をはじめ、日本全国での事業、A S P A C、世界会議など国内外を問わず飛び回ったことは自身の大きな糧となりました。今回得た経験を一つでも多くL O Mメンバーに伝え、おかやまのひとづくり・まちづくりに微力ながら貢献して参ります。

S D G s 推進会議 委員 關 和 敏

本年度、公益社団法人日本青年会議所 社会グループ S D G s 推進会議に出向をさせていただきました。出向先では持続可能な活動は基より、日本全国各地でS D G sの推進をさせて頂くことで多くの経験と学びの機会をいただき、執行部の皆様及び岡山青年会議所のメンバーの皆様におかれましては、出向させて頂き誠に有難うございました。

S D G s 推進会議で学ばせていたことを最終年度に活かし、岡山青年会議所にお返しをさせていただきます。

まだ出向経験がないメンバーの皆様には是非出向していただき、多くの経験をして頂くことで自分自身の成長のチャンスが得られます。もし、機会があるのなら迷うことなく出向して下さい。

S D G s 推進会議 委員 松 田 龍乃輔

本年度、公益社団法人日本青年会議所社会グループS D G s 推進会議に委員として出向をさせていただきました。S D G s という今後国や行政、企業の指針となる理念を日本青年会議所の事業を通して学ばせていただきました。2019年はS D G s 元年ともいわれており、世界的なスタンダードにこれからなるとされる知識や情報を最前線で受け取ることができました。特に5月に湯河原の地で行われました、S D G s アンバサダープログラムの設営に携われたことは大きかったと感じております。今回の出向で得た学びや気づきを仕事やL O MでのJ C活動に活かしてまいります。このような貴重な機会をいただきまして、誠にありがとうございました。

価値デザイン会議 委員 岡 部 憲一郎

本年度は日本青年会議所 経済グループ 価値デザイン会議に委員として出向させていただきました。価値デザイン会議においては既存のものから新たな価値をリデザインし利益を生み出すことを考え、また社会貢献を行いながらも続けて行けるように利益も求めるといった、今までの無償の奉仕とは違った考え方を自分に落とし込むことが出来ました。最終年度も終わり、今年だけにとどまらず、出向する事により今まで学んできた事を実社会にて実践していきたいと思えます。最後になりますが出向を支えて頂きました特別会員、現役会委員の皆様にご心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

J C 拡大会議 委員 石 井 聖 至

本年度、公益社団法人日本青年会議所 組織グループ J C 拡大会議に委員として出向させていただきました。

他 L O M の青年会議所メンバーと拡大について議論し、交流を深める機会を与えていただけたことで、新たな出会いや、多くの気づきを得ることのできた一年となりました。今回得た学びをしっかりと岡山青年会議所に持ち帰り、今後の青年会議所活動に活かすように努めてまいります。

改めて出向は、自分自身を大きく成長させることのできる最高のチャンスのだと感じております。今後も出向の機会があれば、前向きに挑戦していきます。

大変貴重な機会を与えてくださいました古市理事長、またメンバーの皆様、誠にありがとうございました。

公益社団法人日本青年会議所 中国地区協議会

総務・広報・渉外委員会 委員長 竹 田 直 也

2019年度中国地区協議会総務・広報・渉外委員会の委員長として出向させていただきました。

L O M で委員長を担うこともなく、初めての出向が中国地区の委員長で不安もありましたが、様々な L O M の方と出会い、刺激を受け、大変勉強をさせていただいた一年となりました。主に役員会議をはじめ、各会議の設営、地区ナイト、SNS 管理、そして、地区コンファレンス内での褒賞事業を担いとし、地域によって、青年会議所活動の色々な向き合い方や考え方の違いがあり、L O M だけしか見てこなかった自分自身の答え合わせのような出向でもありました。

中国地区ということもあり、広い目線で地域のことに對して考えていく環境で、自分自身、このような広い視野で地域のことを考えることはなかったので、良い経験となり、自分の中で一つ引き出しが増えたような気がしています。そして、一緒に出向をしてくれた多くの岡山青年会議所のメンバーがいなければ、無事一年を終えることはなかったと思います。

本当に一年間支えてくれて感謝しています。ありがとうございました。

皆さんも機会が巡ってきたときには必ず出向を経験してください。必ず、良かったと思えます。

総務・広報・渉外委員会 副委員長 幡 山 益 聖

公益社団法人日本青年会議所中国地区協議会 総務・広報・渉外委員会の副委員長として出向させていただきました。担いとしては、会員会議所会議や毎月開催される役員会議を中心に、様々な場面においての設営をさせていただきました。また、褒賞事業の計画から事業の実施を担当し、地区での活動を改めて実感することができました。

総務・広報・渉外委員会として活動していると、中国地区の様々なメンバーとの出会いや気づきをいただくことができ、また多くの友人ができたことは出向しなければ得ることのできなかった事だと実感しています。出向させてくださった古市理事長、一年間支えてくれたメンバーの皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

公益社団法人日本青年会議所 中国地区 岡山ブロック協議会

傑出した人材育成委員会 副委員長 本 多 高 明

本年度、傑出した人材育成委員会に副委員長として出向させていただき、改めて岡山青年会議所メンバーとして岡山青年会議所が恵まれた環境で活動ができていることを再認識させていただくことができました。

事業は、3月新会員研修会・5月岡山ブロックアカデミー・9月ブロックアカデミースポーツ雪合戦を担当させていただきました。その中で15 L O M の新会員含め入会3年未満のメンバーの皆様と関わらせていただくことができました。

L O M では経験できない事業や他 L O M のメンバーの方との時間共有など出向をしなければ経験できないことが多く、このような機会をいただけたことに心から感謝いたします。

結びに、本年の経験を活かすと共に私が経験したことをメンバーの方にもお伝えすることをお誓いし、出向者報告とさせていただきます。本当に1年間ありがとうございました。

未来ビジョン確立委員会 副委員長
大 岩 裕 季

この度、公益社団法人日本青年会議所中国地区岡山ブロック協議会未来ビジョン確立委員会に副委員長として出向させていただきました。5月12日に「未来輝く多子社会岡山の実現フォーラム」を開催しました。それに向けて、テーマの選定、パネリストの調整、さらには当日はディスカッションのパネリストとして参加させていただきました。多子社会実現に向けた女性が輝く社会の構築及び多子社会の実現に向けた推進に関して論議、表現し、当日の参加者の方々には課題と目的を伝えることはできましたが、男性が会場の多くを占め、本来の対象者である女性の参加者が少なくなってしまったことに後悔を残す結果となり、委員会で広報等に関する反省と課題を論議いたしました。しかし、副委員長として計画段階から多くの会議に参加し、岡山内を飛び回ったことで様々な知識と経験、そして絆を得ることができ、L O M内だけでは得ることのできない学びがありました。そこで得た学びと人脈をL O Mに持ち帰り、L O Mメンバー、そしてL O M自体の成長につなげて参りたいと思います。

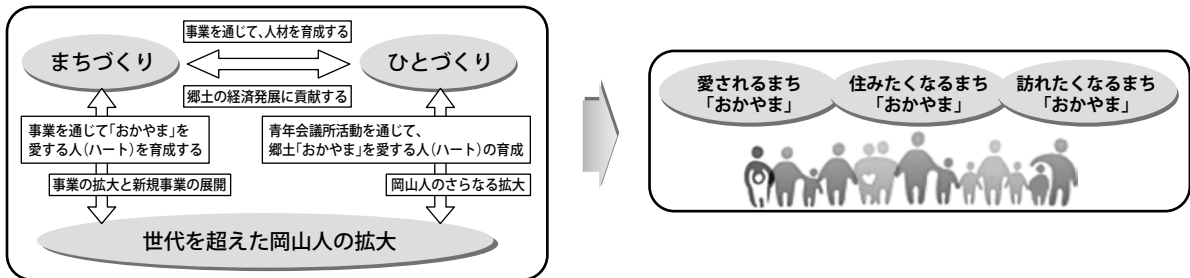
長期ビジョンスローガン

心から心の育成 ハートtoハート『おかやま』

～世代を超えた岡山人の伝承へ～

岡山青年会議所は事業を通じて、岡山人育成に力を入れていきました。岡山人育成の活動を広げていくためには、その活動を多くの人に理解してもらうことが重要です。今後は、岡山人のハート（心）に訴え、世代を超えて育成することが必要であると考えております。

長期ビジョンの考え方



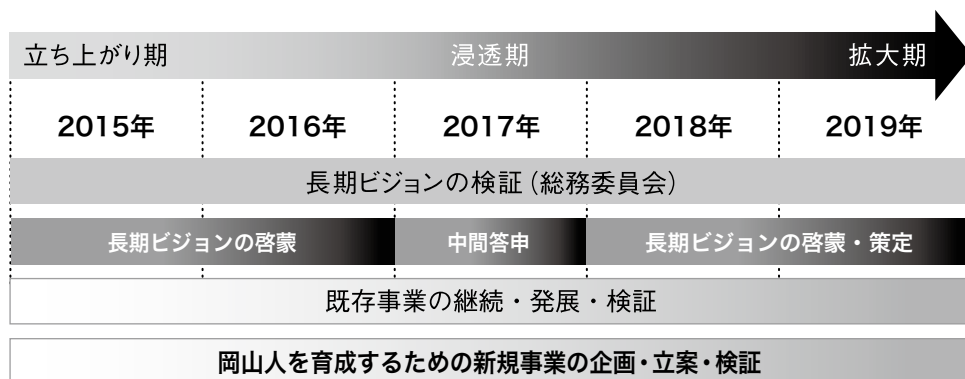
ひとづくり

青年会議所活動を通じて、岡山青年会議所会員自身の成長の場として活動し続け、郷土『おかやま』の発展のために行動できる人材の育成、また、青年会議所活動を経験した人材を輩出させさまざまな世代で活躍する人材の育成に繋がります。そして、郷土『おかやま』を愛する心を持つ者「岡山人」として様々な場面で世代の枠を超えた活動を共に展開する事により、世代を超えた「岡山人」の拡張、伝承を目指します。

まちづくり

青年会議所運動で培った能力を発揮して多くの「岡山人」と係わり、世代を超えた『おかやま』を愛する人（ハート）との繋がりを拡張、育成を積極的に行います。
また、郷土に思いのある方々と連携を行い、今まで以上に広がりのあるまちづくり事業を展開する事を目指します。

長期ビジョンアクションプログラム



- 年間10名以上の純増を目指し、2019年当初120名の会員を得ることを目標とする。
- 市民・他団体との連携を模索しつつ事業の企画・運営を行う事により、様々な世代との交流を通して『岡山人』育成の一助とする。
- 「うらじゃ」への協力を行う。

※ビジョン推進会議の設置

2017年に中間答申として2015年、2016年における事業に対する検証を行う。
2018年、2019年に新長期ビジョン策定のためのビジョン推進会議を設置する。

※長期ビジョンの検証

事業計画書に長期ビジョンとの合致点、事業報告書に長期ビジョン達成した点、達成しなかった点について記載し事業後の検証を行う。また、全事業終了後に総務委員会にて長期ビジョンの検証を行う。

Ⅳ 委員会活動報告

会員研修委員会

平 田 知 之

本年度、岡山青年会議所で根幹となるひとづくり室副理事長兼会員研修委員会委員長という大役を古市理事長より仰せつかりました。前期14名、後期9名の新会員をお預かりし、8名の優秀なスタッフとともに一年間活動に取り組ませていただきました。

これまでの研修委員会と基本的なカリキュラムに大きな変更はありませんでしたが、岡山青年会議所のメンバーとして礼儀、礼節の大切さや、利他やおもてなしの精神を学んでいただき、与えられた事業に新会員が一丸となって取り組むことでお互いの理解と深い絆を育んでいく、そんな活動を推進して参りました。スタッフが「すべては新会員のために」という想いで新会員と真剣に向き合うことで、お互いの大きな成長に繋がった年になったのではないかと思います。

特別会員の皆様また、現役会員の皆様におかれましては、一年間を通して会員研修委員会の活動に対して、ご指導ご鞭撻を賜りましたこと、心より厚く御礼申し上げます。半年間の研修を終えた新会員が、これからの青年会議所活動を通して、郷土おかやまの発展に貢献できる有益な人材となれるよう、今後も見守っていききたいと思います。一年間、ありがとうございました。

エキサイトおかやま委員会

中 村 彰 宏

本年度、エキサイトおかやま委員会の理事委員長を拝命し、岡山のまちがわくわくできるまちづくり事業の構築に邁進してまいりました。

「キッズビジネスパーク2019～もっとおかやまが好きになる?」では参加児童、保護者、ボランティア、出店企業、協力企業と連携して地元企業の魅力を広めることができました。さらに地域の未来を担う子どもがまちに夢と誇りを持つことができ、自己実現にも繋がるきっかけを提供することで、若い世代に向けた郷土「おかやま」のブランディングを加速させ、(一社)カンコー教育ソリューション研究協議会への本格移譲に向けた大きな弾みにすることができました。

また「月見橋バージョンアッププロジェクト」では岡山城と後樂園を結ぶ月見橋をより魅力あるものにし、周辺一帯の観光地としての価値をバージョンアップさせるためのメッセージ性を持った事業を展開しました。事業当日は多くの市民の方に参加をいただき、市に一石を投じる提言書を提出することができました。

委員会メンバー一人一人と担いを共有し、同じ方向に向かって共に汗をかくことで、互いの成長と深い人間関係の醸成に繋がったと感じております。

結びになりますが、貴重な経験をさせていただいた古市理事長をはじめ、叱咤激励を賜りました高山副理事長、杉常任理事、いつも支えてくれた委員会メンバー、ご指導ご鞭撻を賜りました特別会員の皆様に衷心より感謝を申し上げ、本年度の活動報告とさせていただきます。

まちづくり委員会

林 俊 宏

本年度、古市理事長が掲げられる「Excite! okayama」のスローガンのもと、まちづくり委員会は「第26回うらじゃ実行委員会」及び「第20期うらじゃ振興会」の活動に参画し、「うらじゃ開催支援広告協賛募集事業」を実施して参りました。

「第26回うらじゃ実行委員会」では総務部会という立場で活動し、郷土おかやまのまつりの運営に携わるとともに、岡山市を始めとする行政機関との折衝を繰り返す中でまちづくり事業の進め方など普段の生活では経験できない貴重な経験を委員会メンバーともに学ばせていただきました。「第20期うらじゃ振興会」においても事務局として携わらせていただく事で、地域振興への思いや活動方法を学ぶことが出来ました。

「うらじゃ開催支援広告募集事業」では、より多くの岡山県内で活躍される企業の皆様におかやまのまつりの魅力を理解していただけるように活動することで「うらじゃ」への思いを共感していただく事が出来、そして「うらじゃ」を通し郷土おかやまのまちづくりを展開していくことに賛同していただきました。今後も「うらじゃ」を共に盛り上げていただける活動が出来たと考えます。最後に様々な場面で的確なアドバイスをいただきました諸先輩方、そして活動に際して全力でサポートをいただいた高山副理事長、杉常任理事をはじめ現役の皆様に御礼申し上げます委員会事業報告とさせていただきます。1年間本当にありがとうございました。

渉外委員会

嶋田昌浩

本年度、古市理事長より渉外委員会の委員長を拝命し、「Excite! okayama」のスローガンのもと、友好LOMとの交歓会や出向者支援事業などに、渉外委員会メンバー全員で取り組ませていただきました。

予定者段階での中国地区・岡山ブロックへの出向者支援ナイトに始まり、京都会議出向者支援LOMナイト、岡山ブロック大会、サマーコンファレンス出向者支援LOMナイト、地区コンファレンス、全国大会出向者支援LOMナイト、昭和54年生まれ追い出し旅行、高松交歓会の設営をさせていただき、各交歓会へのアテンド業務も行わせていただきました。本年度は「わくわく」というキーワードを軸に今までにない新しい取り組みを意識しました。委員会のフォロワーメンバーにも、それぞれ責任と役割を持ってもらい、メンバー全員で一つの目的に向かい、設営に臨みました。メンバーが成長しながら事業を実施でき、様々なチャレンジを行うことができました。

交流室を担当していただきました岡部副理事長、關常任理事におかれましては、経験値の浅いメンバーが多くいるこの渉外委員会メンバーに対し、多くの学びや気づきを与えていただき、一年間温かく見守っていただきまして誠にありがとうございました。最終最後まで渉外委員会を支えてくれました委員会のメンバーに皆様に感謝を申し上げ委員会の活動報告とさせていただきます。ありがとうございました。

例会委員会

西山武志

本年度、古市理事長より例会委員会の理事委員長を拝命し、「Excite! okayama」のスローガンのもと、参加する誰もがワクワクするような例会設営に委員会メンバー全員で挑戦することができました。

平成から令和時代への移り変わりと同様に、不易を忘れることなく、過去にない取り組みは、新たな岡山青年会議所の幕開けを感じ、事業を通してLOMをワンチームに、結束力を高めることができました。

9月第二例会特別会員合同例会では、慣例で行われていた例会、懇親会の形をくずし、半立食パーティー形式の懇親会を行う新たなチャレンジをさせていただきました。

先輩方からも、「日頃あまり交流がなかった方とも話ができてよかった。」「斬新でよかった」との意見をいただき、設営委員会として、達成感を味わえる貴重な経験をさせていただくことができました。

また、10月例会市民公開例会においては、【これからの生き方～夢の叶え方～】をテーマに、キングコングの西野亮廣氏をお招きし、在り来たりではない西野流の生き方について、会場満員御礼で講演会を開催することができました。

「Excite」をキーワードに、誰もが聞いてみたいとワクワクするような講師の選定、テレビCMや他団体への広告手段など、斬新な発想で、まさに岡山青年会議所らしさを世間にしっかりとアピールすることができました。

古市理事長をはじめ執行部の皆様、理事委員長の皆様、ならびに、LOMメンバーの皆様においても、事業実施にご理解ご協力を賜りましたこと御礼申し上げます。

最後に、最終最後まで例会委員会を支えてくれたメンバーの皆様に感謝を申し上げ委員会の活動報告とさせていただきます。ありがとうございました。

岡山JCブランディング委員会

綾部健二郎

本年度、古市理事長の掲げられる「Excite! okayama」のスローガンのもと、岡山青年会議所のブランディングに寄与できるよう委員会メンバー一丸となり、活動してまいりました。

まず、これまで対内的になりがちだった広報の内容を見直し、対外的に広報すべきものを正確にピックアップするとともに、媒体を適切に選択した広報を心がけ、ホームページで広報すべきものとSNSで広報すべきものを精査し広報活動に取り組みました。また、広報誌「暖流」に関しては金融機関への設置を行うなど、一般の方の目に触れやすくなるよう工夫いたしました。

広報活動以外には自転車競技「BMXフリースタイル」に関する事業を実施いたしました。動画制作及び拡散と体験事業との二本柱で事業を実施し、動画の再生回数21万回超、体験事業への集客1,500名超の実績を獲得することができ、岡山青年会議所のブランディングに繋げることができました。

その他にも新年賀詞交歓会や70周年の準備など多くの活動をさせていただき、未来に向けた岡山青年会議所のブランドづくりの一端を担う活動をさせていただくことができたことと確信しております。

当委員会の活動にご理解とご支援をいただきました現役会員の皆様、ご指導ご鞭撻を賜りました小林副理事長、石井常任理事、そして特別会員の皆様にはこの場を借りて御礼申し上げます、委員会活動報告とさせていただきます。1年間ありがとうございました。

会員拡大委員会

安 部 真 良

本年度、古市理事長より会員拡大委員会の理事委員長を拝命し、『会員拡大』というL O M最大の事業を委員会メンバーと共に全身全霊で活動して参りました。

第一の事業としては意識改革 拡大支援講演会と題して日本J Cシニア・クラブ世話人の上田博和先輩を講師としてお招きし、L O M全体で取り組む重要性和、会員拡大に対する高い意識をもっていただくことを目的として実施致しました。講演後、多くのL O Mメンバーから拡大に対して前向きな言葉を頂戴し、また、L O M全体が拡大に対しての気運が高まることに繋がりました。

第二の事業としてはストライプインターナショナルの代表石川康晴氏を講師としてお招きし、拡大対象者と岡山青年会議所現役メンバーに経営戦略や地域貢献などをテーマに講演していただきました。岡山出身の大手経営者の講演を聞いたことは、岡山青年会議所現役メンバーは勿論、参加していただいた拡大対象者の学びに繋がったと考えております。

当委員会は常に、会員拡大活動がL O Mの基盤を作る活動であり、L O M全体を如何に巻き込めるかを意識して活動してまいりました。未来の岡山青年会議所が、より活動的であるためには人財確保は不可欠であり、今後も委員会メンバー一同会員拡大活動を引き続き活動してまいります。

そして一年間様々なことがありましたが、常に私のことを支え続けてくれた最高のスタッフとメンバーに恵まれ、素晴らしい一年を過ごすことができたことに、今は感謝の想いしかありません。

最後になりますが、このような機会を与えていただきました古市理事長、ご指導をいただきました小林副理事長、石井常任理事、ご支援ご協力を賜りました特別会員、現役会員の皆様に心より感謝申し上げます、本年度の活動報告とさせていただきます。

総務委員会

井 戸 啓 太

本年度、総務委員会では歴の浅いメンバーがL O Mの大半を占める中で、公益社団法人の名に恥じない「組織のさらなる活性化を促進する攻めの総務室」を念頭に、不易と流行を考え、引き継ぐべきものと変えるべきものを見分け、新たな岡山青年会議所の基礎を築くべく、組織運営を展開して参りました。そして、古市理事長が掲げられた、「青年らしい常識に捉われない、わくわくするような新しい価値、事業の創造」の一助として、岡山青年会議所の価値を高めることを意識して活動をして参りました。

またL O Mの要として、委員会だけにとらわれず、メンバー全員と情報共有し、各事業の上程では事業計画書や事業報告書の内容を吟味して参りました。そしてその事業が自信を持って審議を通過できるよう、的確な助言を行うことで、多くの事業を目的の達成へと導くことができました。

メンバーと共に担いを行う中で、常に学びの場となり、メンバーが能動的に行動できるよう委員会運営をすることで、メンバー全員の成長につながったと確信しております。

結びになりますが、我々が新たな岡山青年会議所を見据えて活動ができたのも、いつも方向を示していただいた古市理事長をはじめ、支援を賜った関係者の皆様のおかげです。そして何よりも、いつも前向きに活動を続けてくれた委員会メンバーと、多くのご指導、ご鞭撻を賜りました特別会員の皆様に心より感謝申し上げます、1年間の報告とさせていただきます。

V 会 議

1. 総 会

■第1回定時総会

開 催 日 時 2019年3月6日（水）

開 催 場 所 岡山プラザホテル

総 会 員 数 95名

総 会 員 数 98名

出席した会員数 95名

内訳 本人出席 90名

委任状出席 5名

【議案】 1号議案 公益社団法人岡山青年会議所2018年度事業報告（案）に関する件

2号議案 公益社団法人岡山青年会議所2018年度決算報告（案）に関する件

■第2回定時総会

開 催 日 時 2019年7月3日（水）

開 催 場 所 岡山プラザホテル

総 会 員 数 98名

出席した会員数 93名

内訳 本人出席 88名

委任状出席 5名

【議案】 1号議案 公益社団法人岡山青年会議所2020年度理事選任及び理事長の推薦（案）に関する件

■第3回定時総会

開 催 日 時 2019年7月17日（水）

開 催 場 所 岡山プラザホテル

総 会 員 数 109名

出席した会員数 106名

内訳 本人出席 99名

委任状出席 7名

【議案】 1号議案 公益社団法人岡山青年会議所2020年度理事及び監事の選任、並びに執行部理事の推薦（案）に関する件

■第4回定時総会

開 催 日 時 2019年8月7日（水）

開 催 場 所 岡山プラザホテル

総 会 員 数 109名

出席した会員数 109名

内訳 本人出席 102名

委任状出席 7名

【議案】 1号議案 公益社団法人岡山青年会議所2020年度理事の選任（案）に関する件

■第5回定時総会

開 催 日 時 2019年12月18日（水）

開 催 場 所 岡山プラザホテル

総 会 員 数 109名

出席した会員数 109名

内訳 本人出席 101名

委任状出席 8名

- 【議案】 1号議案 公益社団法人岡山青年会議所2018年度事業計画（案）に関する件
2号議案 公益社団法人岡山青年会議所2018年度収支予算（案）に関する件
3号議案 公益社団法人岡山青年会議所2018年度組織図（案）に関する件

■第1回臨時総会

開催日時 2019年1月10日（木）
開催場所 岡山プラザホテル
総会員数 96名
出席した会員数 96名
内訳 本人出席 90名
委任状出席 6名

- 【議案】 1号議案 公益社団法人岡山青年会議所2019年度監事選任（案）に関する件

2. 理 事 会

■第1回 執行部・理事合同会議

日時：2019年1月8日（火）19:00～21:00
場所：JCルーム
審議事項
（1）監事選任（案）承認の件
（2）2019年度組織図の改定（案）承認の件
（3）2019年度前期入会予定者名簿（案）承認の件
（4）会員資格規定第3条第4項に基づく推薦者3名以上の推薦（案）承認の件

■第2回 理事会

日時：2019年2月18日（月）19:00～21:00
場所：JCルーム
審議事項
（1）公益社団法人岡山青年会議所2018年度決算書（案）承認の件

■第3回 理事会

日時：2019年3月18日（月）19:00～21:00
場所：JCルーム
審議事項
（1）特別会員・現役会員合同新年賀詞交換会事業報告（案）承認の件
（2）会員拡大委員会事業報告書（案）承認の件
（3）うらじゃ開催支援広告協賛募集事業の事業計画（案）承認の件
（4）4月企画懇親例会の事業計画（案）承認の件
（5）6月ビジネスセミナー事業計画（案）承認の件

■第4回 理事会

日時：2019年4月22日（月）19:00～21:00
場所：JCルーム
審議事項
（1）岡山城周辺活性化プロジェクト事業計画（案）承認の件

■第5回 理事会

日時：2019年5月13日（月）19:00～21:00
場所：JCルーム
審議事項
（1）キッズビジネスパーク2019の事業計画（案）承認の件

■第6回 理事会

日時：2019年6月3日（月）19：00～21：00

場所：岡山プラザホテル

審議事項

- (1) 2019年度前期新会員委員会配属（案）承認の件
- (2) 4月企画懇親会の事業報告（案）承認の件

■第7回 理事会

日時：2019年7月3日（水）16：00～18：00

場所：岡山プラザホテル

審議事項

- (1) 公益社団法人岡山青年会議所2019年度後期入会審議（案）承認の件
- (2) 公益社団法人日本青年会議所中国地区協議会出向者（案）承認の件
- (3) 会員資格規定第3条第4項に基づく推薦者3名以上の推薦（案）承認の件

■第8回 執行部・理事合同会議

日時：2019年7月17日（水）16：00～18：00

場所：岡山プラザホテル

審議事項

- (1) 公益社団法人岡山青年会議所2020年度理事及び監事、並びに執行部理事（案）承認の件
- (2) 公益社団法人岡山青年会議所2019年度役員選挙管理委員会投票によって選任される2020年度理事の定款（案）承認の件

■第9回 理事会

日時：2019年8月5日（月）19：00～21：00

場所：J C ルーム

審議事項

- (1) 9月第二例会 特別会員・現役会員合同例会・懇親会の事業計画（案）承認の件

■第10回 理事会

日時：2019年9月4日（火）14：00～16：00

場所：岡山プラザホテル

審議事項

- (1) 会員拡大委員会の事業報告（案）承認の件

■第11回 執行部・理事合同会議

日時：2019年10月21日（月）19：00～21：00

場所：J C ルーム

- (1) 岡山J C ブランディングプロジェクト事業報告（案）承認の件
- (2) 12月第一例会 さよなら例会の事業計画（案）承認の件
- (3) 公益社団法人岡山青年会議所2024年までの長期ビジョン作成の事業計画（案）承認の件

■第12回 理事会

日時：2019年11月18日（月）19：00～21：00

場所：J C ルーム

審議事項

- (1) 岡山城周辺活性化プロジェクトの事業報告（案）承認の件
- (2) キッズビジネスパーク2019の事業報告（案）承認の件
- (3) 9月第二例会 特別会員・現役会員合同例会・懇親会の事業報告（案）承認の件
- (4) 10月例会（市民公開例会）の事業報告（案）承認の件
- (5) 12月第一例会 さよなら例会の事業計画（案）承認の件

■第13回 理事会

日時：2019年12月02日（月）19：00～21：00

場所：J Cルーム

審議事項

- （1）公益社団法人岡山青年会議所2020年度収支予算（案）承認の件
- （2）公益社団法人岡山青年会議所2020年度基本資料（案）承認の件

■第14回 執行部・理事合同会議

日時：2020年1月22日（水）19：00～21：00

場所：J Cルーム

審議事項

- （1）12月第一例会 さよなら例会の事業報告（案）承認の件
- （2）「暖流」を活用した広報計画 事業報告（案）承認の件
- （3）ホームページ制作の事業報告（案）承認の件
- （4）公益社団法人岡山青年会議所2019年度決算資料（案）承認の件

■第1回臨時理事会

日時：2019年3月20日（水）17：00～17：30

場所：岡山プラザホテル

審議事項

- （1）岡山J Cブランディングプロジェクト事業計画（案）承認の件

■第2回臨時理事会

日時：2019年8月7日（水）17：30～18：00

場所：岡山プラザホテル

審議事項

- （1）10月例会（市民公開例会）の事業計画（案）承認の件

Ⅵ 例 会

開催日	会 場	出席者	記 事
1月10日	岡山プラザホテル	99名	特別会員・現役会員合同新年賀詞交換会 新会員バッジ授与式
2月 7日	岡山プラザホテル	96名	新会員3分間スピーチ新会員コミュニティ
3月 6日	岡山プラザホテル	97名	第1回定時総会
3月20日	岡山プラザホテル	95名	ブロック会長公式訪問例会
4月10日	フェアレーン岡山	89名	企画例会
5月 8日	岡山プラザホテル	92名	
6月12日	岡山プラザホテル	96名	配属コミュニティ
7月 3日	岡山プラザホテル	107名	第2回定時総会（次年度理事長推薦） 新会員バッジ授与式
7月17日	岡山プラザホテル	103名	第3回定時総会（次年度執行部推薦） 理事選挙チャレンジスピーチ
8月 7日	岡山プラザホテル	102名	第4回定時総会（次年度理事委員長推薦） 新会員3分間スピーチ
9月 4日	岡山プラザホテル	102名	新会員コミュニティ
9月19日	岡山プラザホテル	100名	OB合同例会
10月 1日	岡山未来ホール	101名	
11月11日	岡山プラザホテル	102名	出向者報告
12月 9日	岡山プラザホテル	101名	さよなら例会
12月23日	岡山プラザホテル	99名	第5回定時総会

Ⅶ 諸 事 業

開 催 日	記 事
1 月 8 日	新年参拝（最上稲荷）、新年挨拶廻り
1 月 1 0 日	新年賀詞交換会（岡山プラザホテル）
1 月 1 7 日～2 0 日	京都会議（京都国際会議場）
2 月 6 日	歴代理事長会議（荒手茶寮）
3 月 1 6 日	岡山ブロック協議会新会員研修会（岡山プラザホテル）
3 月 2 0 日	岡山ブロック協議会会長公式訪問例会（岡山プラザホテル）
4 月 1 3 日	さくらカーニバル後の清掃（旭川河川敷）
4 月 2 8 日	岡山ブロック会員懇親野球大会（西大寺）
5 月 2 3 日	岡山ブロックじゃがいも大会（岡山）
5 月 2 1 日	会頭公式訪問
6 月 8 日	親睦事業（ファーマーズマーケット）
6 月 1 7 日～2 0 日	A S P A C（済州）
6 月 2 5 日	6 月ビジネスセミナー
6 月 3 0 日	岡山ブロック大会（高梁）
7 月 9 日～1 3 日	国際アカデミー
7 月 1 8 日～2 1 日	サマーコンファレンス（横浜）
7 月 2 4 日	大阪 J C ・岡山 J C 交歓会（大阪）
8 月 3 日～ 4 日	第 2 4 回うらじゃ
8 月 1 8 日	中国地区コンファレンス（東広島）
8 月 2 4 日	E x c i t e O K A Y A M A , E x c i t e B M X ～ B M X の聖地おかやま体感事業～
9 月 3 日	高松 J C ・岡山 J C 交歓会（岡山）
9 月 7 日	キッズビジネスパーク（コンベックス岡山）
9 月 7 日～ 8 日	中国地区野球大会（府中）
9 月 1 4 日	岡山城周辺活性化プロジェクト
9 月 1 9 日	特別会員・現役会員合同例会
9 月 2 9 日	岡山ブロックサッカー大会
1 0 月 1 日	市民公開例会
1 0 月 1 0 日～1 3 日	全国大会（富山）
1 0 月 2 3 日	津山 J C ・岡山 J C 交歓会（津山）
1 1 月 4 日～ 8 日	世界会議（エストニア共和国）
1 1 月 1 6 日	5 2 年生追い出し旅行（国際ホテル）
1 1 月 3 0 日	ブロック本次年度合同引継ぎ（岡山プラザホテル）
1 2 月 4 日	倉敷 J C ・岡山 J C 交歓会（倉敷）
1 2 月 4 日	さよなら例会（岡山プラザホテル）
1 2 月 2 1 日	岡山ブロック J C O B 会（岡山国際ホテル）
1 2 月 1 8 日	クリスマス家族会（岡山プラザホテル）

VIII 褒 賞 関 係

1. 褒章委員会

最優秀賞 総務委員会
優秀賞 岡山J Cブランディング委員会

2. 100%例会出席者

【執行部】

古市聖一郎、青木 浩平、高山 晃一、岡部憲一郎、岸 紘史、杉 大和、
關 和敏、石井 聖至、柴田 収

【会員研修委員会】

平田 知之、本多 高明、河内 浩晃、大塚 真弘、佐藤 一弥、若林 裕聖、
上田憲一郎、江種 崇行、竹中 広太

【エキサイトおかやま委員会】

中村 彰宏、大岩 裕季、二垣 幸広、國方 康平、和田 晃司、城戸 貴登、
藤原 啓介

【まちづくり委員会】

林 俊宏、大森 将平、畑 利昌、林 利光、藤原由紀子、三垣 章一、
三宅 信也、小野祐一郎

【渉外委員会】

嶋田 昌浩、古山 久幸、野本 智也、香川 陽一、田口 貴裕、内海 尚紀

【例会委員会】

西山 武志、大饗 千鶴、松田龍乃輔、山畑 和久、高橋 雄大、田所 敦史、
福永 涼人、藤原 明裕、岡崎 信英、金丸 俊孝、松田 敦夫

【岡山J Cブランディング委員会】

綾部健二郎、津島 周史、青山 雅史、加藤 高明、蒲原 智樹、妹尾 愛希、
武元 浩、野田龍太郎、馬場 紀行、大北大士郎、永山 栄一

【会員拡大委員会】

安部 真良、幡山 益聖、星川 基浩、砂古 和宏、五十嵐尚樹、倉矢 悠毅、
服部 悟、綾部 系一、平井 秀和

【総務委員会】

井戸 啓太、竹田 直也、中山 友二、高畠 裕介、池元 純一、清友 利昭、
藤井 彰一、小西 秀斉、田中 康一

2019年度 決算資料

(1) 公益社団法人岡山青年会議所 貸借対照表 2019年12月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額	科 目	金 額
I 資産の部		II 負債の部	
1 流動資産		1 流動負債	
現金及び預金	34,315,749	前受金	6,446,000
未収入金	2,048,819	預り金	84,480
貯蔵品	15,000		
仮払金	1,450,000		
流動資産合計	37,829,568	流動負債合計	6,530,480
2 固定資産		III 正味財産の部	
(1) 基本財産		正味財産	62,474,937
公益目的保有財産	30,312,263		
基本財産合計	30,312,263		
(2) その他固定資産			
什器備品	427,116		
ソフトウェア	429,120		
敷金	7,350		
その他固定資産合計	863,586		
固定資産合計	31,175,849	正味財産合計	62,474,937
資産合計	69,005,417	負債・正味財産合計	69,005,417

（２）公益社団法人岡山青年会議所 正味財産増減計算書

2019年1月1日から2019年12月31日まで

（単位：円）

科目	決算額	決算額（公益）	決算額（共益）	予算額	差額
一般正味財産増減の部					
経常収益					
基本財産運用益	2,579	2,579	0	10,000	-7,421
基本財産受取利息	2,579	2,579	0	10,000	-7,421
受取入会金	2,300,000	1,150,000	1,150,000	2,200,000	100,000
受取入会金	2,300,000	1,150,000	1,150,000	2,200,000	100,000
受取会費	21,589,000	10,794,500	10,794,500	21,845,000	-256,000
正会員受取会費	18,540,000	9,270,000	9,270,000	18,540,000	0
特別会員受取会費	2,624,000	1,312,000	1,312,000	2,880,000	-256,000
特別会員積立金収入	425,000	212,500	212,500	425,000	0
事業収益	38,965,228	32,559,728	6,405,500	32,530,360	6,434,868
青少年育成事業収益	1,675,000	1,675,000	0	1,320,000	355,000
人材育成事業収益	1,827,000	1,827,000	0	2,000,000	-173,000
地域活性化事業収益	29,057,728	29,057,728	0	22,096,360	6,961,368
会員研修事業収益	6,405,500	0	6,405,500	7,114,000	-708,500
受取補助金等	0	0	0	0	0
受取国庫補助金	0	0	0	0	0
受取負担金	411,000	411,000	0	500,000	-89,000
受取負担金	411,000	411,000	0	500,000	-89,000
受取寄付金	354,690	0	354,690	220,000	134,690
受取寄付金	230,000	0	230,000	220,000	10,000
募金収益	124,690	0	124,690	0	124,690
雑収益	299	55	244	1,000	-701
受取利息	299	55	244	1,000	-701
有価証券運用益	0	0	0	0	0
雑収益	0	0	0	0	0
経常収益計	63,622,796	44,917,862	18,704,934	57,306,360	6,316,436
経常費用					
事業費	54,497,035	45,395,066	9,101,969	49,299,855	5,197,180
給料手当	885,226	758,766	126,460	1,137,500	-252,274
臨時雇賃金	0	0	0	0	0
接待交際費	672,256	0	672,256	896,956	-224,700
福利厚生費	0	0	0	0	0
旅費交通費	0	0	0	0	0
通信運搬費	940,287	677,345	262,942	922,956	17,331
減価償却費	0	0	0	0	0
消耗什器備品費	435,834	373,572	62,262	522,893	-87,059
消耗品費	853,047	763,235	89,812	832,568	20,479
修繕費	0	0	0	0	0
印刷製本費	1,975,423	1,886,162	89,261	2,206,100	-230,677
燃料費	0	0	0	0	0
光熱水料費	17,388	17,388	0	19,872	-2,484
賃借料	7,435,754	6,305,146	1,130,608	6,969,732	466,022
保険料	106,270	106,270	0	106,270	0
諸謝費	1,618,695	1,525,237	93,458	2,156,160	-537,465
租税公課	3,463	400	3,063	200	3,263
支払負担金	0	0	0	0	0
支払助成金	18,702,803	18,702,803	0	16,681,750	2,021,053
支払寄付金	0	0	0	0	0
委託費	20,652,901	14,108,880	6,544,021	16,062,869	4,590,032
有価証券運用費	0	0	0	0	0
減価償却費	188,624	161,678	26,946	0	188,624
雑費	9,064	8,184	880	1,080	7,984
予備費	0	0	0	782,949	-782,949
管理費	6,453,585	0	6,453,585	7,874,485	-1,420,900
給料手当	126,460	0	126,460	162,500	-36,040
臨時雇賃金	0	0	0	0	0
接待交際費	0	0	0	0	0
福利厚生費	0	0	0	0	0
旅費交通費	0	0	0	0	0
通信運搬費	97,498	0	97,498	75,000	22,498
減価償却費	0	0	0	0	0
消耗什器備品費	62,262	0	62,262	74,699	-12,437
消耗品費	68,157	0	68,157	43,750	24,407
修繕費	0	0	0	0	0
印刷製本費	89,261	0	89,261	135,700	-46,439
燃料費	0	0	0	0	0
光熱水料費	0	0	0	0	0
賃借料	358,620	0	358,620	385,000	-26,380
保険料	0	0	0	0	0
諸謝費	0	0	0	0	0
租税公課	0	0	0	0	0
支払負担金	1,954,274	0	1,954,274	1,908,408	45,866
支払助成金	0	0	0	0	0
支払寄付金	0	0	0	0	0
委託費	2,863,472	0	2,863,472	2,619,467	244,005
有価証券運用費	0	0	0	0	0
減価償却費	26,946	0	26,946	0	26,946
雑費	806,635	0	806,635	2,469,961	-1,663,326
経常費用計	60,950,620	45,395,066	15,555,554	57,174,340	3,776,280
当期経常増減額	2,672,176	-477,204	3,149,380	132,020	2,540,156
当期一般正味財産増減	2,672,176	-477,204	3,149,380	132,020	2,540,156
一般正味財産期首残高	59,802,761	37,413,117	22,389,644		
一般正味財産期末残高	62,474,937	36,935,913	25,539,024		

公益目的事業比率

公益目的事業事業費合計

事業費合計（経常費用計）

＝

0.745

(3) 公益社団法人岡山青年会議所 正味財産増減計算書内訳表
2019年1月1日から2019年12月31日まで

(単位：円)

科目	公益目的事業					収益事業等		法人会計	内部取引	合計
	公 1 青少年育成	公 2 人材育成	公 3 地域活性化	共通	小計	他1 会員研修	小計			
一般正味財産増減の部										
経常収益					0					
基本財産運用益				2,579	2,579					2,579
基本財産受取利息				2,579	2,579					2,579
受取入会金	0	0	0	1,150,000	1,150,000	0	0	1,150,000	0	2,300,000
受取入会金				1,150,000	1,150,000	0	0	1,150,000		2,300,000
受取会費	0	0	0	10,794,500	10,794,500	0	0	10,794,500		21,589,000
正会員受取会費				9,270,000	9,270,000	0	0	9,270,000		18,540,000
特別会員受取会費				1,312,000	1,312,000	0	0	1,312,000		2,624,000
特別会員積立金収入				212,500	212,500	0	0	212,500		425,000
事業収益	1,675,000	1,827,000	29,057,728		32,559,728	6,405,500	6,405,500			38,965,228
青少年育成事業収益	1,675,000				1,675,000		0			1,675,000
人材育成事業収益		1,827,000			1,827,000		0			1,827,000
地域活性化事業収益			29,057,728		29,057,728		0			29,057,728
会員研修事業収益					0	6,405,500	6,405,500			6,405,500
受取負担金	411,000				411,000					411,000
受取負担金	411,000				411,000					411,000
受取寄付金				0	0			354,690		354,690
受取寄付金					0			230,000		230,000
募金収益					0			124,690		124,690
雑収益	5	1	49	0	55	5	5	239		299
受取利息	5	1	49		55	5	5	239		299
雑収益					0		0			0
経常収益計	2,086,005	1,827,001	29,057,777	11,947,079	44,917,862	6,405,505	6,405,505	12,299,429		63,622,796
経常費用										
事業費	3,549,636	3,267,979	38,577,451	0	45,395,066	9,101,969	9,101,969			54,497,035
給料手当	47,802	42,491	668,473		758,766	126,460	126,460			885,226
臨時雇賃金					0		0			0
接待交際費					0	672,256	672,256			672,256
福利厚生費					0		0			0
旅費交通費					0		0			0
通信運搬費	74,640	33,141	569,564		677,345	262,942	262,942			940,287
減価償却費					0		0			0
消耗什器備品費	23,535	20,920	329,117		373,572	62,262	62,262			435,834
消耗品費	57,026	22,901	683,308		763,235	89,812	89,812			853,047
修繕費					0		0			0
印刷製本費	33,740	104,272	1,748,150		1,886,162	89,261	89,261			1,975,423
燃料費					0		0			0
光熱水料費	17,388				17,388		0			17,388
賃借料	987,638	654,996	4,662,512		6,305,146	1,130,608	1,130,608			7,435,754
保険料	30,900	75,370			106,270		0			106,270
諸謝費	90,520	1,434,717			1,525,237	93,458	93,458			1,618,695
租税公課	200	200			400	3,063	3,063			3,463
支払負担金					0		0			0
支払助成金			18,702,803		18,702,803		0			18,702,803
支払寄付金					0		0			0
委託費	2,173,685	868,337	11,066,858		14,108,880	6,544,021	6,544,021			20,652,901
有価証券運用費					0		0			0
減価償却費	10,186	9,054	142,438		161,678	26,946	26,946			188,624
雑費	2,376	1,580	4,228		8,184	880	880			9,064
管理費							0		0	0
役員報酬							0			0
給料手当							0	126,460		126,460
退職給付費用							0			0
福利厚生費							0			0
会議費							0			0
旅費交通費							0			0
通信運搬費							0	97,498		97,498
減価償却費							0			0
消耗什器備品費							0	62,262		62,262
消耗品費							0	68,157		68,157
修繕費							0			0
印刷製本費							0	89,261		89,261
燃料費							0			0
光熱水料費							0			0
賃借料							0	358,620		358,620
保険料							0			0
諸謝費							0			0
租税公課							0			0
支払負担金							0	1,954,274		1,954,274
支払寄付金							0			0
委託費							0	2,863,472		2,863,472
有価証券運用費							0			0
減価償却費								26,946		26,946
雑費							0	806,635		806,635
経常費用計	3,549,636	3,267,979	38,577,451	0	45,395,066	9,101,969	9,101,969	6,453,585		60,950,620
評価損益等調整前当期経常増減額										0
特定資産評価損益等										0
評価損益等計										0
当期経常増減額	-1,463,631	-1,440,978	-9,519,674	11,947,079	-477,204	-2,696,464	-2,696,464	5,845,844		2,672,176
経常外費用計										0
当期経常外増減額	-1,463,631	-1,440,978	-9,519,674	11,947,079	-477,204	-2,696,464	-2,696,464	5,845,844		2,672,176
当期一般正味財産増減	-1,463,631	-1,440,978	-9,519,674	11,947,079	-477,204	-2,696,464	-2,696,464	5,845,844		2,672,176
一般正味財産期首残高					37,413,117	4,174,261	4,174,261	18,215,383		59,802,761
一般正味財産期末残高					36,935,913	1,477,797	1,477,797	24,061,227		62,474,937

(4) 財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入れ原価法による原価法を採用している。

(2) 固定資産の減価償却方法

什器備品・・・定率法を採用している。

ソフトウェア・・・定額法を採用している。

(3) 消費税等の会計処理

税込で処理している。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	10,000,000	137,877	0	10,137,877
定期預金	10,000,000	113,807	0	10,113,807
定期預金	10,000,479	60,100	0	10,060,579
小計	30,000,479	311,784	0	30,312,263
特定資産	0			0
小計	0			0
合計	30,000,479	311,784	0	30,312,263

3. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	585,036	157,920	427,116
ソフトウェア	643,680	214,560	429,120
合計	1,228,716	372,480	856,236

(5) 附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

(単位：円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	定期預金				
	ゆうちょ銀行	10,000,000	60,579	0	10,060,579
	定期預金				0
	三菱東京ＵＦＪ銀行	10,000,000	137,877	0	10,137,877
	定期預金				0
	百十四銀行	10,000,479	113,328		10,113,807
	基本財産計	30,000,479	311,784	0	30,312,263
特定資産		0			0
	特定資産計	0			0

(6) 財産目録
2019年12月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的	金額
(流動資産)				
	現金	手元現金	運転資金として	35,959
	預金	普通預金		
		中国銀行大供支店802727	運転資金として	12,487,159
		中国銀行大供支店1575838	運転資金として	1,666,246
		中国銀行大供支店1572456	運転資金として	11,814,369
		中国銀行大供支店1575889	運転資金として	2,342,484
		中国銀行大供支店1693687	運転資金として	339,163
		中国銀行大供支店1675417	運転資金として	64,429
		中国銀行大供支店1697585	運転資金として	10,002
		中国銀行大供支店1575897	運転資金として	1,253
	小計		28,725,105	
	定期預金			
	トマト銀行大供支店7232341	運転資金として	5,554,685	
小計		5,554,685		
合計		34,279,790		
未収入金			2,048,819	
貯蔵品		J C バッジ	15,000	
仮払金			1,450,000	
流動資産合計				37,829,568
(固定資産)				
基本財産	預金	定期預金		
		三菱東京 U F J 銀行	公益目的保有財産	10,137,877
岡山支店0928802				
その他		百十四銀行岡山支店650006	公益目的保有財産	10,113,807
		ゆうちょ銀行4191891	公益目的保有財産	10,060,579
		什器備品	展示棚	118,463
	ソフトウェア 敷金		事務机	184,919
			事務イス	123,734
		会員データベース	429,120	
		駐車場敷金	7,350	
固定資産合計				31,175,849
資産合計				69,005,417
(流動負債)				
	前受金	現役会員	2 0 2 0 年度会費	4,230,000
		特別会員	2 0 2 0 年度会費	2,216,000
	預り金	従業員	源泉所得税等	84,480
流動負債合計				6,530,480
負債合計				6,530,480
正味財産				62,474,937
負債・正味財産合計				69,005,417

岡山 J C 設立趣意書

1. 経済活動は、人類社会の基盤であり青年は人類社会発展の原動力であります。吾々はこの意義と誇りの重責に答えんとしここに岡山青年会議所を設立せんとする。
2. 急迫せる国際情勢下郷土の産業経済的發展、日本経済の再建にたずさわる吾等青年実業家の任務はまことに重大である。吾等郷土の経済活動の第一線にたずさわるもの縣下の各層にわたり同土を集め、もつて岡山青年会議所を其の名にふさわしいものにせんとする。
3. 国際経済を離れて日本経済は成立しない。吾等は日本青年会議所を通し、国際青年会議所の精神をわがものにし、国際親善に志し世界の青年と緊密なる提携のもとに平和に寄與し経済活動における人道的世界観を築きもつて祖国日本郷土岡山のあやまりなき再建にいささか貢献せんとする。

(1951年2月6日 創立総会)

